

「平成26年8月4日からの 低気圧に伴う大雨による出水の概要」

【速報版】

国土交通省 北海道開発局
札幌開発建設部
平成26年8月

- 8月4日から5日にかけて、台風12号から変わった低気圧が前線を伴って北海道付近を通過し、日本海側北部を中心に非常に激しい雨が降りました。そのため、雨竜川で「はん濫危険水位」を超えるなど11の地点において基準水位を超過し、幌加内町・深川市・沼田町では河川のはん濫の危険性が高まり、避難勧告によって住民が避難する事態となりました。(現在は、避難勧告は解除)
- 当部では、水害の発生を防ぐため、地上からの河川巡視や水位・雨量の監視に加え、災害対策用ヘリコプター「ほっかい」による上空から状況調査を行ったほか、雨竜川流域の自治体等へ当部職員を現地情報連絡員(リエゾン)として派遣しました。(延べ19名)
- この洪水に対し、これまでの河川整備や直轄ダムの防災操作の効果により出水時の河川水位を低減させたほか、排水ポンプ車や排水機場の稼動により内水被害の軽減を図りました。

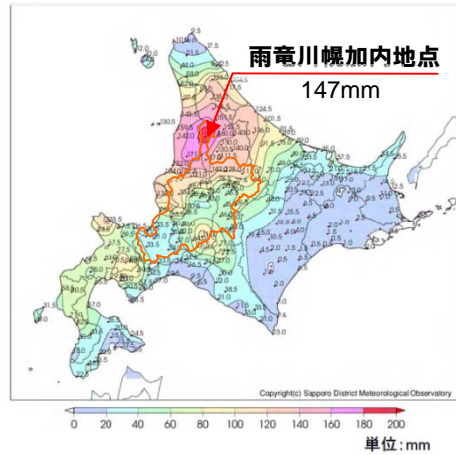
雨量・水位の状況

平成26年8月7日現在（速報値）

概要

8月4日から8月5日までの降雨により、雨竜川流域の幌加内雨量観測所では総雨量147mm、最大1時間雨量21mmを観測。雨竜川幌加内水位観測所で157.99mの水位を記録し、計画高水位との差が僅か20cmとなる大きな出水となりました。

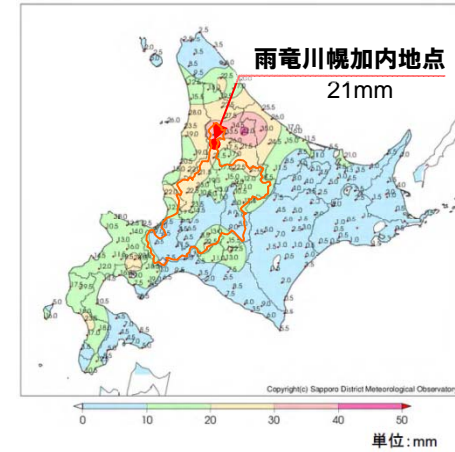
積算降水量(8月4日9時～5日24時)



総雨量

最大1時間雨量

1時間雨量の最大値(8月4日9時～5日24時)

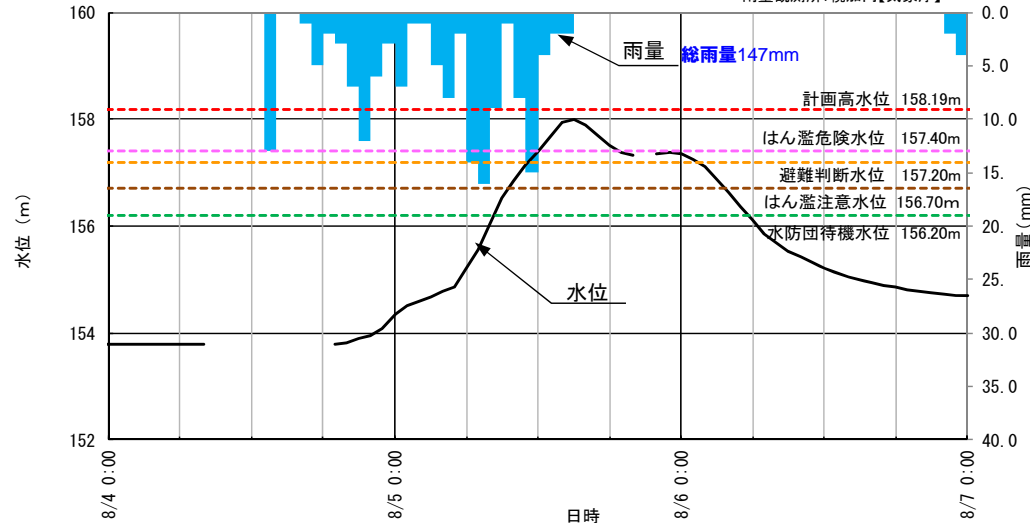


※分布図は札幌管区気象台HPより

降雨及び水位の状況（雨竜川）

雨竜川 幌加内地点

水位流量観測所: 幌加内【開発局】
雨量観測所: 幌加内【気象庁】



平成26年8月6日24時現在（一部欠測あり） ※雨量観測データは毎正時を使用

概要

今回の出水では、石狩川下流域の水位観測所全51箇所※1の内、はん濫危険水位超過2観測所、避難判断水位超過1観測所、水防団待機水位超過9観測所であり、あわせて**12の水位観測所において基準水位を上回る水位を記録しました。**

※1：はん濫注意水位等の基準水位を設定している観測所数。



【基準水位を超過した観測所】

◆はん濫危険水位超過：2観測所

（雨竜川）^{ほろかない たどし}幌加内、多度志

●避難判断水位超過：1観測所

（雨竜川）^{うりゅう}雨竜橋

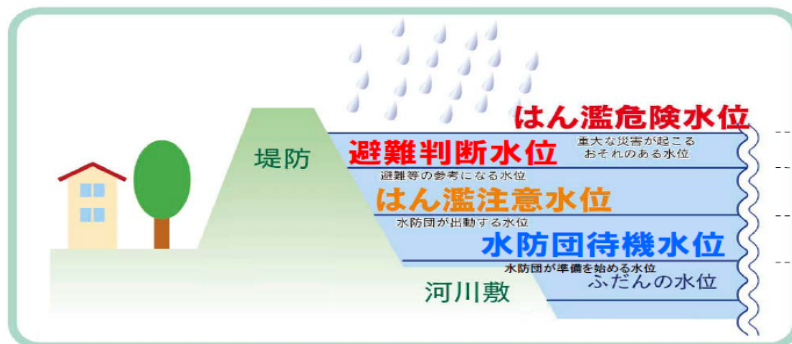
○水防団待機水位超過：9観測所

（石狩川）^{おさむない ふしこ はしもと すながわ ないえ ぼらと}納内、伏古、橋本町、砂川橋、奈井江大橋、茨戸

（雨竜川）^{ほくりゅう たつぶ}北竜橋、達布橋

（産化美唄川）^{さんかびばい}産化美唄

河川水位



危険度レベル



- はん濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こる恐れのある水位
- 避難判断水位：避難勧告等の発令判断、住民の避難判断の目安となる水位
- はん濫注意水位：水防機関が出勤して水防活動を行う目安となる水位
- 水防団待機水位：水防団が水防活動するため待機する水位

情報収集及び自治体支援等の状況

札幌開発建設部では、**24時間体制で気象及び河川情報の監視等**を行いました。現地においては、地上からの河川巡視及び監視に加え、災害対策用ヘリコプター「ほっかい」を派遣し、札幌開発建設部、北海道建設部河川砂防課による上空からの状況、調査を実施しました。

これらに加え、深川市からの要請により**排水ポンプ車を派遣**したほか被災した自治体への支援や情報収集を目的として深川市、幌加内町、沼田町、秩父別町等の8自治体に対し、**当部職員を現地情報連絡員（リエゾン）として派遣**しました。（延べ19名）



24時間体制での気象及び河川情報の監視



河川巡視



秩父別町へのリエゾン派遣



「ほっかい」による上空からの調査



排水ポンプ車による排水



幌加内町へのリエゾン派遣

現地情報連絡員（リエゾン）とは

地震・水害・土砂災害等の大規模自然災害の発生時に、地方公共団体へ国土交通省職員を派遣し、災害情報等の情報収集、災害応急対策の支援等を行うものです。

浸水被害軽減のための活動状況

平成26年8月7日現在（速報値）

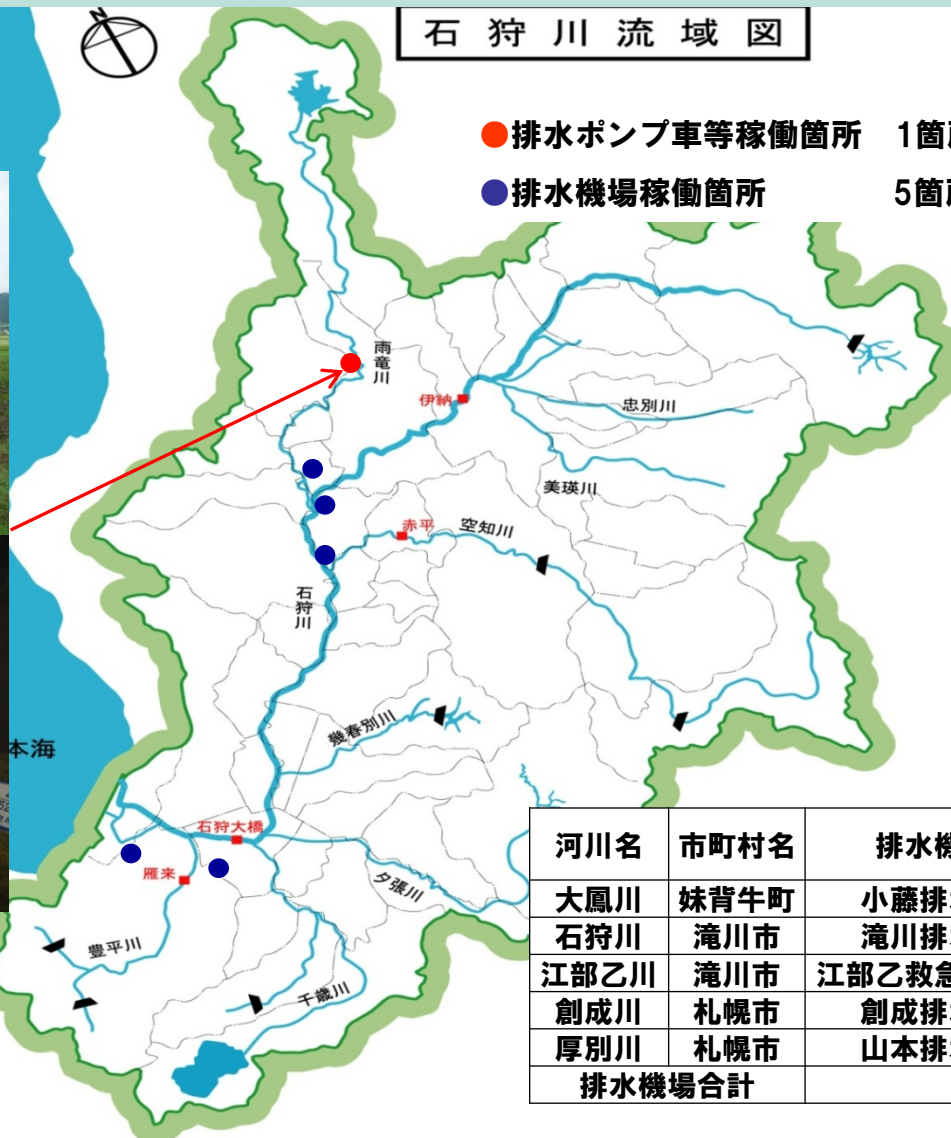
概要

※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

今回の出水では、河川水位の上昇や内水の排除不良により、管内で浸水被害が発生しました。浸水被害の軽減を図るため、排水ポンプ車や排水機場のポンプにより内水排除活動を行い、被害の拡大を防止しました。

石狩川流域図

- 排水ポンプ車等稼働箇所 1箇所
- 排水機場稼働箇所 5箇所



KP.52.2 雨竜川ヌップ上流樋門における内水排除状況



KP.52.2 雨竜川ヌップ上流樋門における内水排除状況(夜間)

8月7日9時現在

河川名	市町村名	排水機場名	稼働状況	稼働時間
大鳳川	妹背牛町	小藤排水機場	稼働終了	約13時間
石狩川	滝川市	滝川排水機場	稼働終了	約1時間
江部乙川	滝川市	江部乙救急排水機場	稼働終了	約5時間
創成川	札幌市	創成排水機場	稼働終了	約1時間
厚別川	札幌市	山本排水機場	稼働終了	約1時間
排水機場合計			5箇所	

出水被害状況（雨竜川）①

平成26年8月7日現在（速報値）

今回の出水では、雨竜川流域において、**護岸の被災や内水はん濫(18箇所、約 63 ha)**が発生しました。

雨竜川KP.78右岸(幌加内町)

(護岸被災 約20 m)



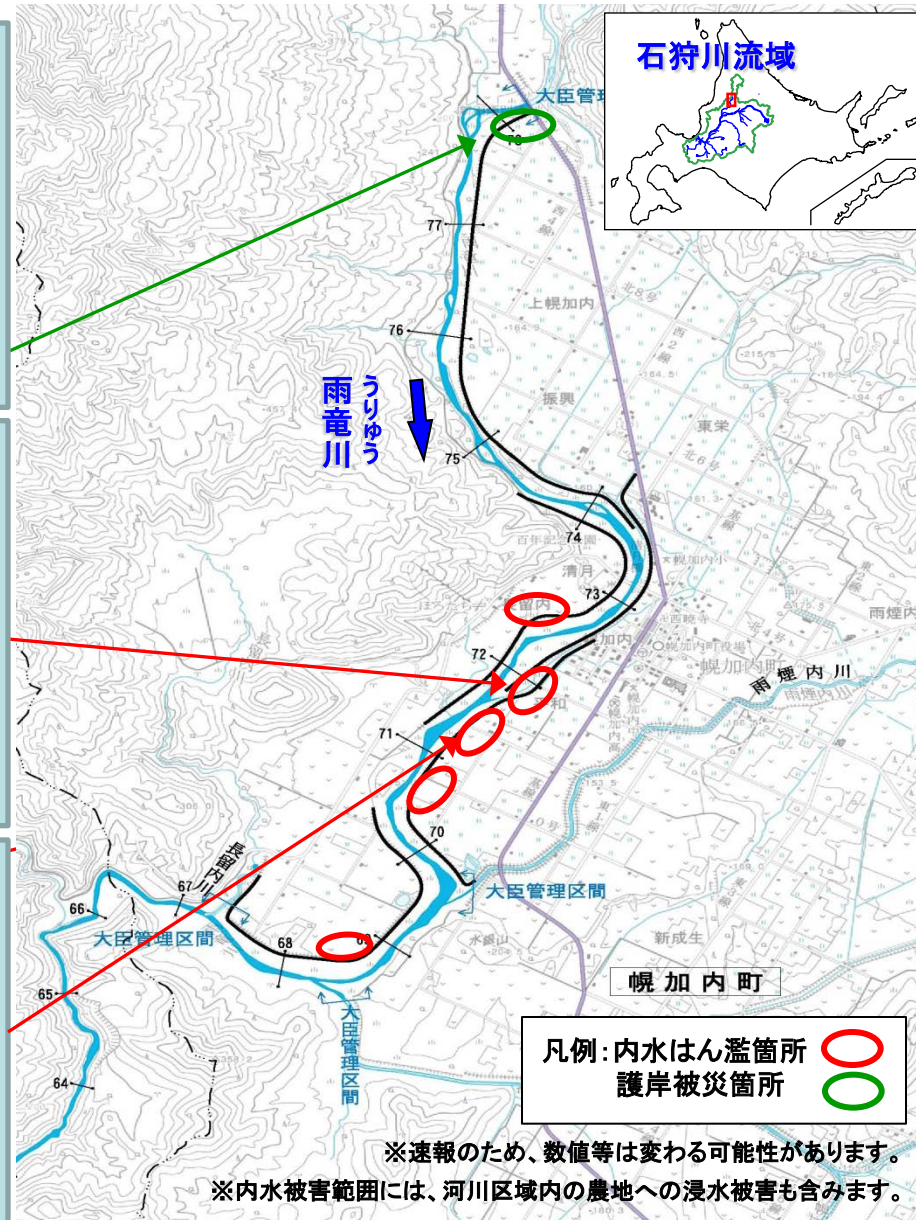
雨竜川KP.72左岸(幌加内町)

(浸水面積 約1.5 ha)



雨竜川KP.71左岸(幌加内町)

(浸水面積 約6.0 ha)



出水被害状況（雨竜川）②

平成26年8月7日現在（速報値）

雨竜川KP.46右岸左岸（深川市）

（浸水面積 約4.1 ha）



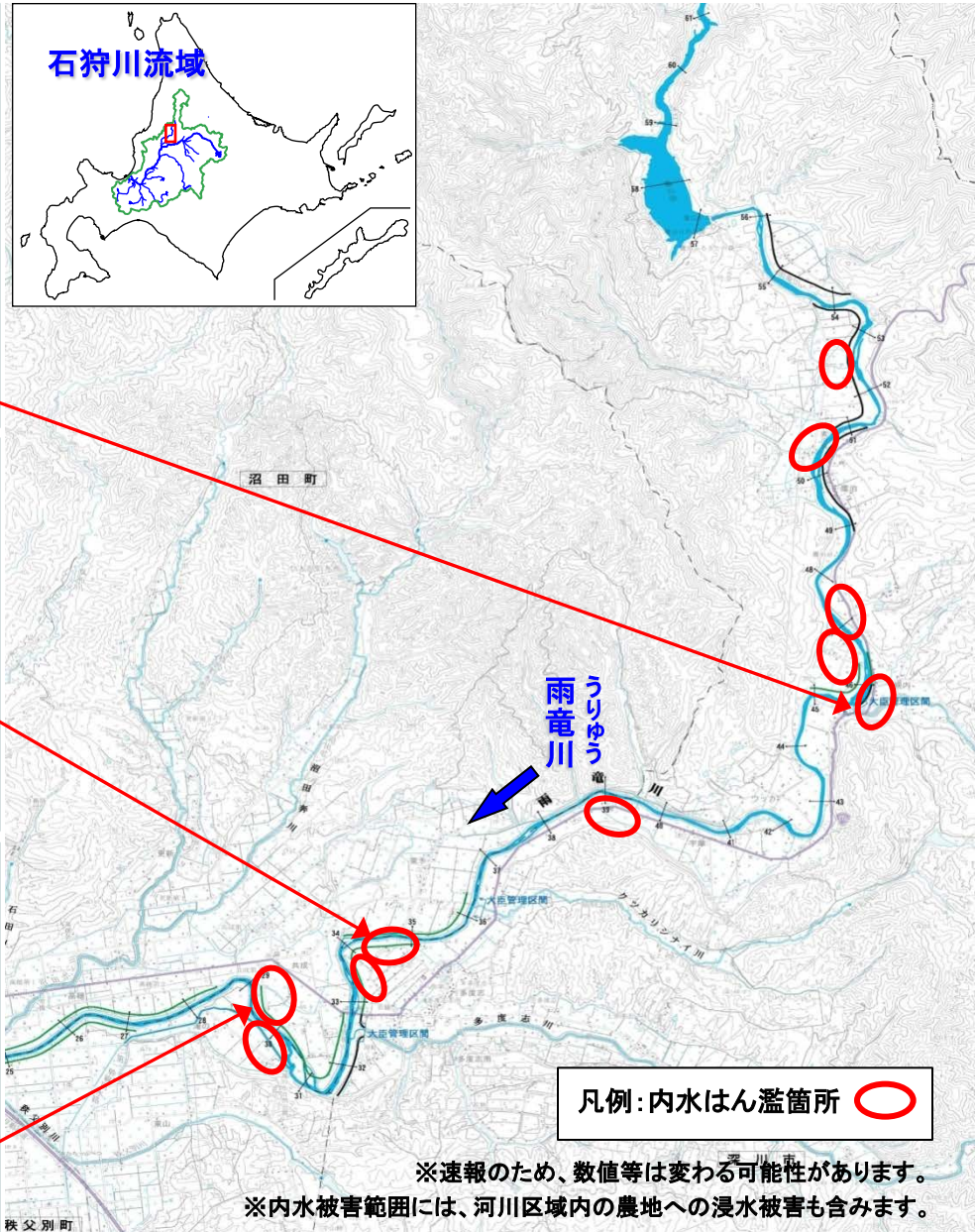
雨竜川KP.35左岸（沼田町）

（浸水面積 約2.9 ha）



雨竜川KP.29右岸（沼田町）

（浸水面積 約9.1 ha）



出水被害状況（雨竜川）③

平成26年8月7日現在（速報値）

雨竜川KP.26穂栄橋左岸（秩父別町）

（浸水面積 約5.9 ha）



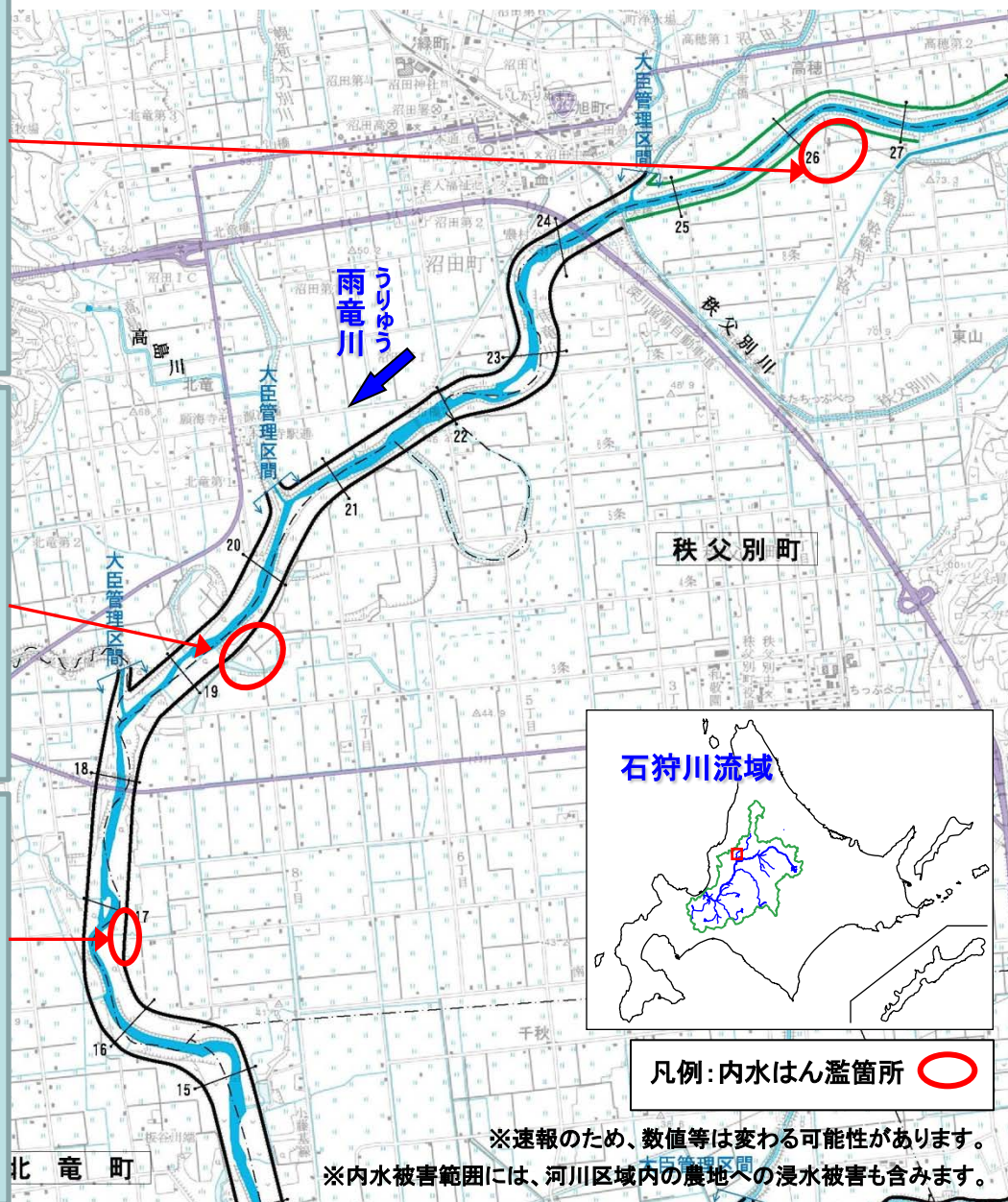
雨竜川KP.19左岸（秩父別町）

（浸水面積 約3.9 ha）



雨竜川KP.17左岸（秩父別町）

（浸水面積 約0.1ha）



河道掘削により雨竜川幌加内地区の水位を低減

平成19年に策定された雨竜川河川整備計画に基づき、幌加内市街地の直下流の狭窄部の河道掘削を順次実施しています。
このことにより今回の出水では、幌加内市街地下流地区の水位を約1.3m低減する効果がありました。(推定値)

幌加内市街地地区の状況

■雨竜川の最高水位時付近での状況



河道掘削箇所図

■幌加内市街地下流の狭窄部を掘削し、洪水時の水位低下を図っています。



河道掘削断面図

雨竜川（幌加内市街地の直下流） ※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

掘削による水位低減効果 約1.3m（推定値）

掘削を行わなかった場合の最高水位（推定値）

今回出水における最高水位 H=150.90m

計画高水位 (H.W.L)

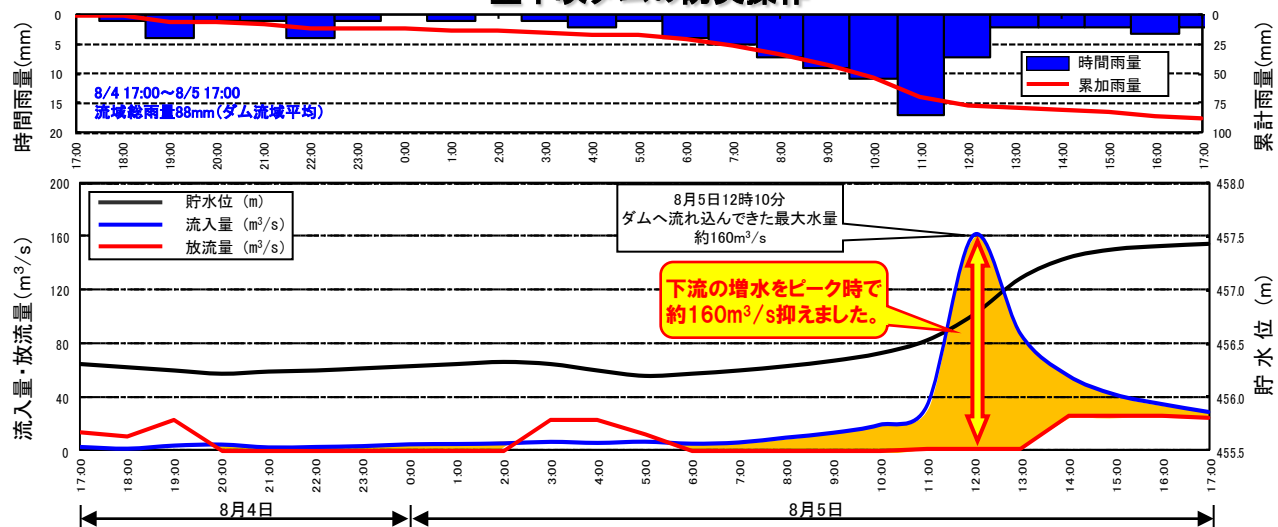
現在の河道断面（掘削後） 河道掘削以前の河道断面

掘削により川の断面を広げました

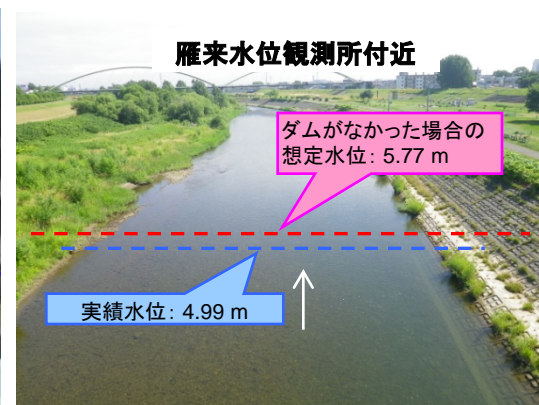
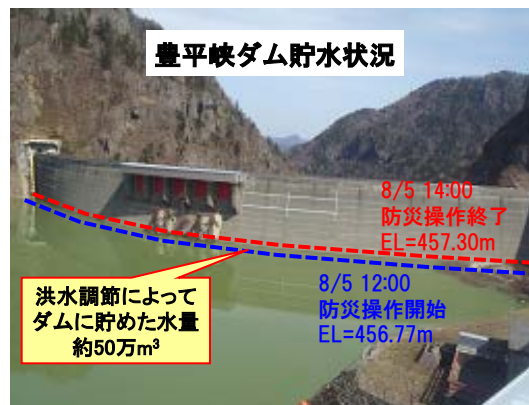
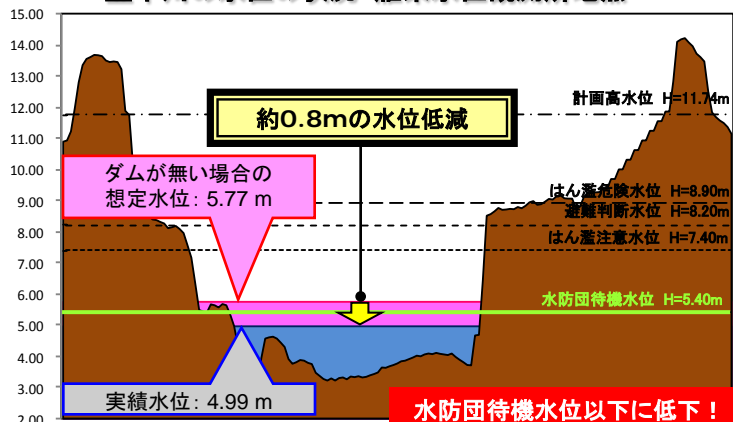
ダム整備が効果を発揮（北海道 豊平峡ダム）（国管理）

- 平成26年8月5日、低気圧・前線に伴う降雨により、豊平峡ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
 - 豊平峡ダムの洪水調節等によって下流河川の水水位低減を図り、下流の札幌市(雁来水位観測所)では、水防団待機水位※1以下の水位に抑えることができました。
 - 仮にダムが整備されていないならば、水防団待機水位を上回る出水となったことが想定されます。
- ※1 水防団待機水位:水防団が水防活動を行うための準備を行う目安となる水位。

豊平峡ダムの防災操作



豊平川の水位の状況 雁来水位観測所地点



※2 速報のため、数値等は変わる可能性があります。